

交流協定締結の経緯と意義

現在教育学部は、アメリカ合衆国のミネソタ大学教育学部及びオランダ王国のアムステルダム大学教育学部と学部間国際交流協定を締結し、積極的に学術・研究交流、情報交換及び、学生交流をすすめている。

アムステルダム大学教育学部はヨーロッパの六大学及びアメリカ合衆国の四大学（ミネソタ大学を含む）との間で「教育学部ネットワーク・アムステルダム」と呼称される国際交流の制度を確立し、学生交流と研究交流に力を入れていたが、さらにネットワークの拡大を図り、国際的広がりを確保するためにアジア地域の大学の参加を求めている。そこで特に日本とタイの参加が求められることになり、タイではチュラロンコン大学教育学部が、そして日本からは広島大学教育学部がそのネットワークに参加することになった。これにより欧米諸国の大学のみならずアジア

広島大学教育学部とタイ王国
チュラロンコン大学教育学部の
国際交流協定締結

教育学部

二宮 皓



アの大学を含めた国際的で複合的な教育学の研究・教育交流の国際ネットワークの確立が促進されることになる。

さらに教育学部としてはこうした国際交流を一層積極的かつ効果的に推進するためにも、これまでのミネソタ大学教育学部及びアムステルダム大学教育学部との国際交流協定締結に加えて、ネットワークの一員であるタイのチュラロンコン大学教育学部との間にも学部間国際交流協定を締結し、一層複合的・多面的な交流の促進を図ることとしたのである。こうした交流はこれまで我が国の大学が行ってきた二元的交流とは大変趣の異なった、きわめて新しい交流・協力のあり方を探るものである。つまりそれぞれが交流協定を締結すると同時に一つのネットワークを形成することでもって複合的交流を活性化するという新しい発想からの試みである。

歴史的に古い大学

タイ王国はアジア諸国の中でも早くから高等教育機関が発達した国の一つであり、イギリスやアメリカをモデルとする優れた近代的高等教育機関が設置されている。スコタイ放送大学も早い時期から実施され、メディアによる高等教育の普及も図られている。チュラロンコン大学はタイの多くの高等教育機関の中にあっても一九一七年創立という



タイで最も歴史的に古い大学であり、輝かしい伝統と権威を有する大学である。キャンパスを訪れた人なら誰でもが、近代的な建築の中に屋根など建物の形や色調に大変特徴のあるタイの伝統的な建築様式による建物(学部)に出会ったり、大学のキャンパスの中にある「仏像」を見たりして、タイの大学がかもしだしている伝統文化の強い香に驚くに違いない。チュラロンコン大学は、十五学部といくつかの独立研究所からなっている総合大学である。学生数は学部学生が約二万三〇〇〇人、大学院学生が約四五〇〇人となっており、教

員数は約二四〇〇人となっている。教育学部は、一九二四年の教員養成カレッジを前身とする文理学部が一九五七年に改組され、教育学部として設置された学部であり、現在十一の学科から編成されているタイで最も権威のある教育学部である。また大学院も充実しており、多様な分野での修士プログラム及び博士プログラムが提供されている。学生数は学部学生が約一五〇〇〇人となっている。教員数はおよそ三九〇人である。なお学部長は Somwang Pitayanuwat 先生(社会科学教育)で、国際交流に特に熱心である。

創立七十五周年記念 国際会議の開催

チュラロンコン大学教育学部は、タイにおける教員養成百周年記念、同大学七十五周年及び教育学部三十五周年記念の事業の一環として、一九九二年十月十一日より十六日まで、バンコク市内のロイヤル・オーチッド・シエラトンホテルを会場とし、「教師教育に関する国際会議」を開催した。筆者もこの記念国際会議の主要シンポジウム(「学校と教師の役割の変化」)の提案者として招聘されたこともあり、教育学部を代表して参加することができたことを光栄に思っている。

この国際会議にはタイのチェンマイ大学、コンケン大学など多くの大学の教師教育に関係する人々に加えて、アメリカ(ミネソタ



「教師教育に関する国際会議」の開会式
(ガラヤニ・ワタナ王女も出席)

大学やミシガン州立大学など)、オーストラリア、ドイツやオランダなどヨーロッパの大学からも多くの研究者が参加する大規模な国際会議であった。会議では教師教育に関する研究交流・意見交流が活発に行われ、大変大きな成果があったものと確信している。今後ますます教育・研究交流が進展することを願わずにいられない。